

海外生活 エッセー

ロンドン事務所

デビットカードデビューしました — 英国カード生活 —

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 渡邊 美里 (福島県派遣)

ロンドンに住み始め2カ月が経ちました。さすが世界中から人が集まる都市。家と銀行口座さえ確保できれば、英語が多少不自由でも日々の生活にはあまり困りません。

今回は、そんな英国での日常生活に欠かせない存在、デビットカードについてご紹介したいと思います。

デビットカードは預金口座にひもづけられた決済用カードで、カード利用後、口座から即時に利用金額が引き落とされる仕組みです。VISAやMasterCard等、クレジットカード事業で知られる国際ブランドにより決済サービスが提供されており、各ブランド加盟店であれば、デビットカード・クレジットカード共に差異なく利用できることが多いようです。英国ではオンライン決済と後述するコンタクトレスペイメントを除き、カード利用には暗証番号の設定と入力が必要です。

→ 英国におけるデビットカード

THE UK CARDS ASSOCIATION の調査^(注)によると、英国の人口約6,500万人に対し、デビットカードの発行数は約1億枚(2016年10月)、利用額はクレジットカードに対して2倍強となっています(同年9月)。

英国で銀行口座を開くと、デビットカードを兼ねた国際キャッシュカードが標準で発行されます。私が口座開設した銀行ではオプションでクレジットカードも申し込みますが、その場合は専用の口座とカードが預金口座とは別に開設・発行されます。

英国の銀行では通帳がありません。預金の残高確認のためにはオンラインバンキング、テレフォンバンキング、ATMによる残高照会のいずれかを行う必要があります。オンラインバンキングではデビットカードの利用明細(日時、金額、店名等)と口座残高を一目で確認・ダウンロードすることができます。

→ いつでもどこでもカード利用可能!

日本では現金信者だった私ですが、現在は以下のような便利さに負け、大抵の支払いにデビットカードを利用しています。

- ①小規模小売店からイベント仮設ブースまで、カード決済が浸透。個別会計やチップもカード払い対応が可能。
- ②少額決済であれば、カードを讀取機にタッチするだけで支払可能(コンタクトレスペイメント)。請求金額が聞き取れなくてもカードをかざして支払完了。
- ③オンラインで利用明細と預金残高が把握でき、家計簿いらず。
- ④現金が必要なときは手数料無料で



スーパー外壁のATM。町中至る所にあります。

で24時間使えるATMをお財布代わりに利用可能。上記利点はクレジットカードでもほぼ同様ですが、クレジットカード払いの場合手数料を取る企業もあります。

以上、大変便利な英国カード社会ですが、逆にこの環境に慣れた英国人がいざ日本の地方へ旅行にやってきた場合、なかなか苦勞することが予想されます。

私が日本に戻る頃には日本でのカード利用の状況も変わっているかもしれませんが、現状では国際キャッシュカードが利用可能なATMの情報提供等を行いながら、日本の貨幣に親しんでもらうのが良いのかなと思います。

便利な分、ついつい余計な買い物をしてしまうデビットカード。不正利用や紛失、使いすぎに気を付けながら上手にお付き合いしていきたいと思います。

(注) http://www.theukcardsassociation.org.uk/facts_figures/index.asp